

社団法人 九州テレコム振興センター (KIAI)

～ **Kyushu Island Alliance of ICT** ～



KIAI

Kyushu Island Alliance of ICT



～組織・地域の垣根を越えた広域的な産学官連携の推進を図り、九州における地域情報化を幅広く支援し、豊かな地域社会の創出を目指してまいります。～

情報通信技術（ICT）は、あらゆる社会経済活動の基盤となっており、社会経済のグローバル化、多様化に伴う様々な課題解決に際し、時間と距離の制約を超えるICTは、今後より一層重要な役割を担っていくこととなります。

中でも、情報通信インフラ自体の整備が、地域において一定に浸透してきた現在においては、このICTを社会経済システムにどう活用していくか、いわゆるICTの利活用推進に関する検討が、これからの大きな課題になると思われます。そのためには、単に情報通信システムの開発・普及展開といった点に限らず、デジタルデバイドの解消、リテラシーの向上等、地域としてICTを支える人材、体制をいかに構築していくか、といった取り組みも大切です。さらに、昨今の広域行政の動きにも呼応するとともに、ICTが有するメリットを最大限に活かす観点からも、従来以上に「広域性」といった視点からの施策も求められてくると考えられます。

（社）九州テレコム振興センターでは、昭和63年度の設立以来、九州の地域情報化促進に向けた様々な取り組みを展開してまいりましたが、こういった地域における様々な動きにもより柔軟に対応していくため、平成22年度より、ICT分野に関する幅広い広域連携事業を展開してきた産学官連携の協議会組織である「九州情報通信連携推進協議会（KIAI）」と組織統合を図り、新たに「（社）九州テレコム振興センター（KIAI）」（英語名称：Kyushu Island Alliance of ICT）として再出発し、地域情報化関連事業の充実をより一層図ってきているところです。今後とも、多様な事業活動を通じた産学官の連携強化を図りながら、グローバルかつ中長期的な観点から、九州地域の高度情報化を支援してまいりたいと思っております。

このような本センターの組織運営に対しまして、引き続き多くの皆様方からのご理解、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

社団法人九州テレコム振興センター（KIAI） 会長 江 端 正 直
（国立大学法人熊本大学 名誉教授）

沿革

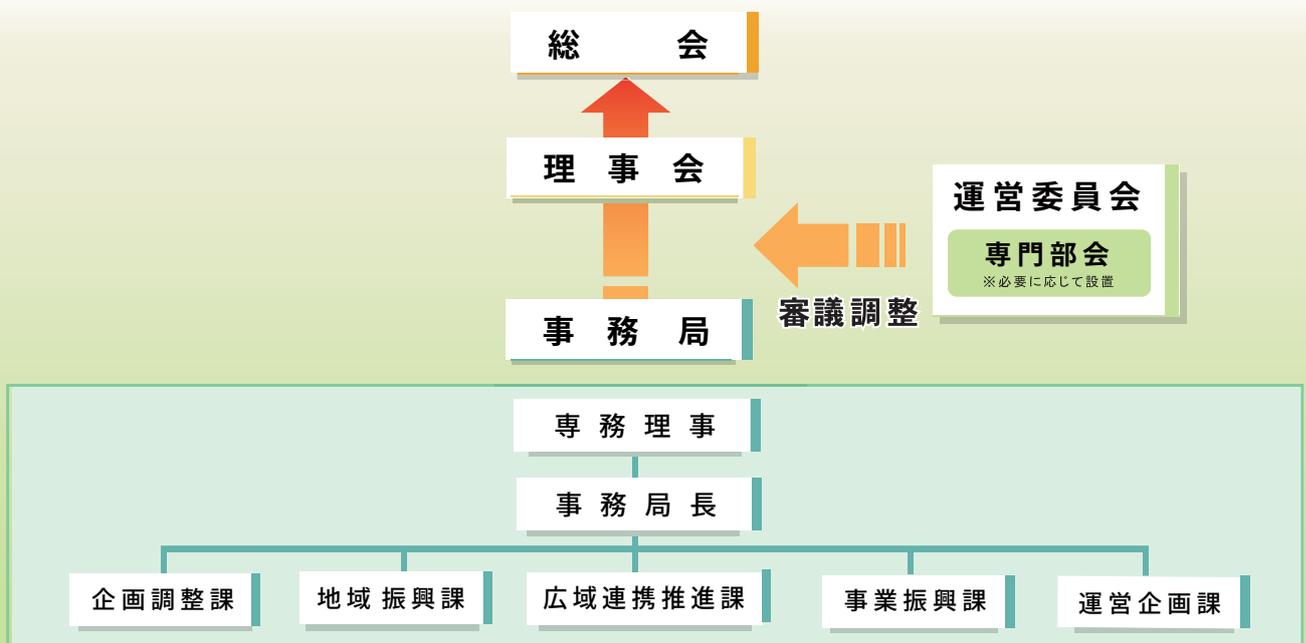
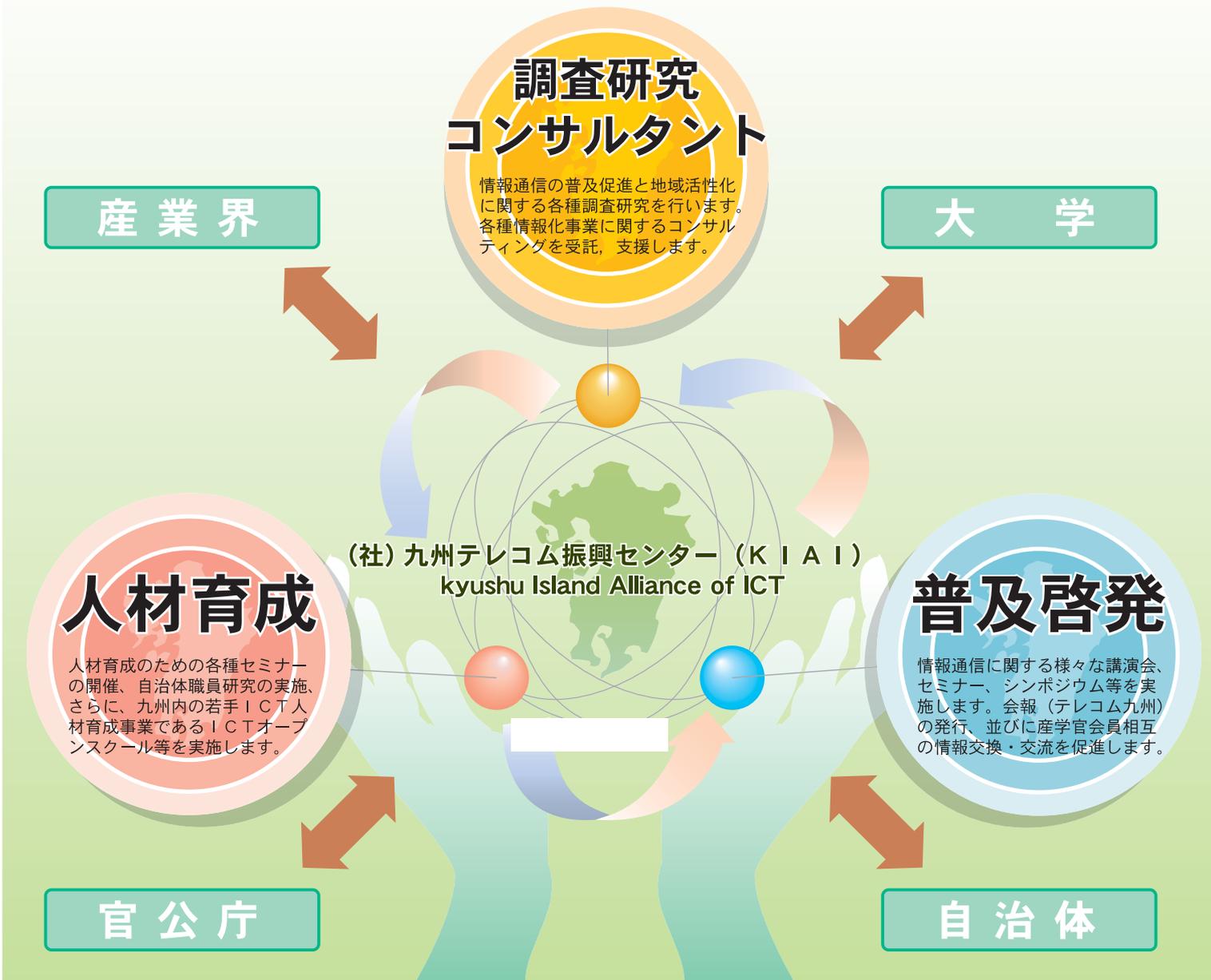
	（社）九州テレコム振興センター	九州情報通信連携推進協議会 （KIAI:Kyushu Island Alliance of ICT）
昭和63年12月	九州テレコム高度化推進懇談会設立（センター前身組織）	
昭和63年 6月	社団法人九州テレコム振興センター発足 [各種部会活動開始（～平成11年度迄）] 総合調査研究、ビデオテックス、VAN、CATV、電波利用、放送系ニューメディア、パソコン通信等	
平成 7年 5月	九州マルチメディア推進懇談会設置（～平成9年度迄）	
平成11年10月		次世代超高速ネットワーク九州地区推進協議会 （ KIAI 母体組織）設立
平成19年10月		九州情報通信連携推進協議会（ KIAI ）発足
平成20年 9月	広域連携推進室設置	
平成21年10月		九州広域防災情報サービスプラットフォーム検討委員会発足
平成22年 5月	平成22年度通常総会にて、KIAIとの組織統合が承認	九州地域ホワイトスペース利活用検討研究会を発足
平成22年 6月		平成22年度総会にて、社団法人九州テレコム振興センターとの組織統合に伴う協議会組織の発展的解散が承認
	（社）九州テレコム振興センター（KIAI:Kyushu Island Alliance of ICT）	
平成22年 7月	社団法人九州テレコム振興センターと九州情報通信連携推進協議会（ KIAI ）が組織統合 社団法人九州テレコム振興センター（ KIAI ）[英語名称:Kyushu Island Alliance of ICT]として再出発	

【KIAIロゴ説明】

- ◆3本のリングは 産・学・官 を表現しています。
- ◆KIAIロゴにある白い点は、各組織の壁に風穴を開け、垣根を越えた連携を進めていこうとする意味を込めています。



産官学連携による広域的な事業活動を通じ、九州の地域情報化を先導



調査研究

多様な調査研究・コンサルタント事業の展開により九州におけるICT分野の総合的シンクタンク組織としての発展を目指す

【主な調査研究事業】

九州広域に展開可能なICTシステムの調査研究

汎用的広域情報共有システム

[九州広域防災ポータルサイトの開発等]

地理的条件不利地域における臨時的ICTサービスモデルの構築検討

[小型気球を活用した無線ネットワーク環境の構築実験等]

簡単操作

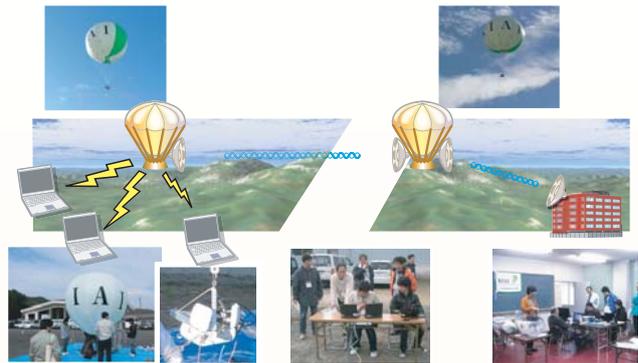
インターネット環境とWebブラウザがあれば誰もが利用可能

多様性

防災分野のみならず多様な地図情報共有ツールとしての展開が可能

低コスト

GISは基本的に電子国土を利用



気球打ち上げ風景

通信実験風景



広域防災ポータルサイト画面

防疫対応版画面

その他様々な調査研究会活動

[九州地域ホワイトスペース活用検討研究会の運営等]



調査研究結果を相互にフィードバック

九州におけるICT利活用促進に向けての調査研究活動

[九州地域ICT利活用調査研究会]
ICT利活用に関する様々な実態調査を進め、地域情報化推進に向けての課題等を分析



コンサルタント

- ・ 情報通信基盤施設整備基本設計調査業務 (F T T H、防災無線等)
- ・ 地域情報化計画策定業務
- ・ I C T 調査研究開発関連業務



若手ICT人材育成研修



九州ICTオープンスクール開催風景



実フィールド環境下でのICT実証実験風景
(地理的条件不利地域での臨時的通信環境構築実験)

産学官連携による事業推進

各種セミナー等



情報セキュリティ研修セミナー
開催風景

自治体職員研修



自治体職員研修開催風景



各種人材育成事業を通じた九州地域における産学官連携体制の更なる進展

普及啓発



地域に密着した
多様な普及啓発活動を
九州各地で展開

情報化施策説明会

各省庁における情報化関連予算施策の
総合説明会



九州地域情報化研究会

地域が抱えるICT分野に関する様々な
課題解決支援に向け実施するワークショ
ップ形式の研究会



九州JGNシンポジウム

先端の情報通信技術の研究開発動向に
関する紹介等を行うシンポジウム



わいわいKid's

ブロードバンドを活用した小学校間の
遠隔交流授業



ICT利活用推進セミナー

地域における具体的なICT利活用を
推進していくための啓発セミナー



その他各種講演、セミナー、
シンポジウム等の開催



